

自動車钣金塗装のプロフェッショナルを育てる

● 山梨県自動車車体整備協同組合

TOPICS

峡南高等技術専門校の塗装実習をサポート

山梨県自動車車体整備協同組合(市川清理事長 組合員88名)では、山梨県立峡南高等技術専門校の生徒を対象に钣金塗装実習の講師派遣を行った。これは、組合員の持っている高く優れた钣金技術を見てもらうことで自動車車体整備業界への興味を深めてもらおうと平成15年から行ってきたもの。



座学による講習の様子

今年度は、生徒25名を対象に2月13～23日の9日間で、座学による溶接や钣金塗装の知識の習得、生徒を2グループ

に分けた実際の車両を钣金塗装する実技講習を行った。最終日には車両の全塗装の作業が完了し、講師となった組合員からは「市場に出しても問題ないくらい素晴らしい出来栄えに仕上がっている。」と評価があった。

山梨県は人口一人あたりの自動車保有率が高く、自動車整備業界での人材確保・育成は大きな課題である。当組合では自動車整備士を目指す人材との交流や実践的な体験から、自動車整備にやりがいや満足感を得てもらい将来を担う人材の育成につなげていきたいと、この取り組みを続けてきた。

実習に参加した生徒からは、「年齢の近い若手技術者から技術アドバイスを受けられ、将来働くために業界を知ることができ、いい刺激になった。」「卒業後は車体整備業界に進み、資格の取得など技術を高めていきたい。」と自動車整備業界への就職に



実際の車両を通じ実践的なスキルが身についた

向けての声が多くあった。県立峡南高等技術専門校では自動車整備課の定員拡大が行われたが、業界では依然として人材確保が課題となっており、組合では仕事の魅力を発信し伝えることで業界の維持発展につなげていきたいと考えている。